



アフリカ豚熱 (ASF) に注意を!

アジア諸国ではアフリカ豚熱の拡大が続いています。2021年にはマレーシア、ブータン、タイ、また、2022年にはネパール、本年2月にはシンガポールにおいてはじめてASFが確認されました。また、韓国では本年8件もの発生がありました。また、アジア地域からの旅客携帯品の豚肉等から109件ものASFウイルス遺伝子が検出されており、いつ国内にASFが侵入してもおかしくない状況です。

引き続き、豚熱 (CSF) に注意を!

捕獲野生イノシシの検査は、昨年度、県下で916頭(木曽134頭、松本70頭、北アルプス26頭)、死亡イノシシの検査は県下で2頭の計918頭で、うち捕獲2頭がCSFウイルス遺伝子検査陽性でした。また、抗体検査陽性は直近で17%にとどまっています。つまり、免疫を持ったイノシシが少ない状況です。隣県(愛知、岐阜、静岡、群馬)の中にはCSFウイルス陽性のイノシシが増加傾向の県もあり、長野県も今後増加することが予想されます。

ASF、CSF 対策

- ① 衛生管理区域・豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ② 衛生管理区域専用の衣服・靴の設置
- ③ 野生動物対策

をお願いします

NEW

令和5年度 松本家畜保健衛生所の新たな体制がスタート!

所長 山本 修

飼養衛生管理基準の遵守を通じ、家畜伝染病防疫対策の維持・強化をお願いします。

保健衛生課	防疫課	病性鑑定課
課長 神戸三希	課長 袴田由美	課長 大泉卓也
慢性疾病対策等を通じて、生産性向上を支援します。	各種検査や病性鑑定などを通じて、家畜伝染病の発生予防と、衛生管理の向上を支援します。	病性鑑定の精密検査を通じて、疾病の診断、対応等、最新知識を用いて疾病対策を支援します。

伝染病等の異常通報は松本家畜保健衛生所 TEL:0263-47-3223 へ